

グラフィックサービス

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

ジャグラは一般財団法人日本情報経済
社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です



GS

No.779
2016
10

■ 巻頭企画

影山史枝の

第23回東京国際ブックフェア見てある記

旧 電子出版EXPOが統合され、より顧客目線の展示会にリニューアル!

■ 特別企画

短時間労働者の

厚生年金保険・健康保険の加入対象が広がる

～平成28年10月より/当面、従業員501人以上の企業が対象～

■ NEWS とお知らせ

9.14「印刷の月」式典を開催

～ジャグラより3氏2社が表彰される～

第二代 InDesign マイスター決定!!

■ 連載「温孔知新⑩」

～みちのくの謄写印刷名人～



C·O·N·T·E·N·T·S

- 巻頭企画
2 影山史枝の
第23回東京国際ブックフェア見てある記
旧 電子出版 EXPO が統合され、
より顧客目線の展示会にリニューアル!
- 特別企画
12 短時間労働者の
厚生年金保険・健康保険の加入対象が広がる
平成28年10月より/当面、従業員501人以上の企業が対象
- 24 第二代 InDesign マイスター決定!!
栄光は戸田大作氏 (日経印刷株) / 東京千代田) の手に

● NEWSとお知らせ

- 1 本誌をハイブリッドで提供開始!
- 23 ジャグラBBホットニュース
- 26 業界の動き
9.14 「印刷の月」式典を開催
ジャグラから3氏2社が表彰される

● 連載

- 28 「温孔知新⑩」みちのくの謄写印刷名人
～鈴木藤吉と井上修吉～
山形謄写印刷資料館 館長 後藤卓也
- 15 コラム
- 18 議事録抄録
- 19 企業情報
- 25 書籍案内
- 27 編集後記

お知らせ



9月号
より

SCHEDULE

ジャグラ・スケジュール表

<p>■ 9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日 プライバシーマーク現地審査 (長野) 2日 SPACE-21 幹事会 (秋田) 6日 プライバシーマーク現地審査 (京都)、 組織拡大打合せ (京都) → 中村会長、沖専務 7日 プライバシーマーク現地審査 (愛知)、 日本自費出版文化賞最終選考会、 日本自費出版文化賞記者発表 → 中村会長 9日 JIPDEC ヒアリング調査 → 延期 10日 ジャグラコンテスト二次審査、教育・技術委員会 12日 JIPDEC 指定審査機関会議 → 守田常務 (代理) 13日 4 団体懇談会 (銀座) → 中村会長、菅野副会長、沖専務 14日 プライバシーマーク審査会、正副会長会議、 日産連「印刷の月」式典 15日 ジャグラコンテスト専門委員会、広報委員会 16日 環境委員会、文化典北海道大会実行委員会打上げ (北海道) → 守田常務 21日 プライバシーマーク現地審査 (秋田) 24日 全日本製本全国大会 (東京ドームホテル) → 中村会長 26日 プライバシーマーク現地審査 (大阪) 27日 プライバシーマーク現地審査 (大阪) 29日 日産連知的財産部会 → 増田理事 <p>■ 10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 3日 プライバシーマーク現地審査 (大阪) 4日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)、 東グラ理事会 → 沖専務理事 	<ul style="list-style-type: none"> 6日 ハイデルベルグ・ジャパン(株) 90 周年 (品川プリンス ホテル) → 菅野副会長、経営革新委員会 7日 理事会 (東京ドームホテル)、 全国協議会一日目 (東京ドームホテル) 8日 全国協議会二日目 (東京ドームホテル)、 日本自費出版文化賞表彰式 (アルカディア市ヶ谷) 11日 マーケティング委員会 13日 プライバシーマーク現地審査 (宮城) 14日 プライバシーマーク現地審査 (宮城) 19日 日産連ステアリングコミッティ → 中村会長、 プライバシーマーク現地審査 (大分) 20日 日産連専務理事連絡会 → 沖専務、 文化典岩手大会実行委員会 (岩手) → 守田常務、事務局 21日 全印工連全国大会 (福島) → 中村会長、 ショーワ会 (ホテルメトロポリタンエドモント) → 沖専務 26日 プライバシーマーク審査会、 日産連知財研究会 → 増田理事、 JAGAT 理事会 (欠席) 28日 プライバシーマーク現地審査 (岩手)、 複写連全国大会 (兵庫・有馬) → 祝電 <p>■ 11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 2日 JIPDEC ヒアリング、日印機工総会 (如水会館) 12日 SPACE-21 全国協議会 (石川・金沢商工会議所) 13日 ジャグラ運営基盤戦略会議 (石川・近江町交流プラザ) 18日 近畿地協総会 (ビアーレ大坂) 25日 東グラ理事会 (ニッケイビル)、東北地協幹事会 (宮城)
--	---

本誌『グラフィックサービス』を ハイブリッド(紙媒体+Web)で提供開始

ジャグラ広報委員会 (早坂淳委員長) は会員企業向けに
機関誌『グラフィックサービス』(略称 GS 誌) を月刊で発行していますが、
この9月よりこれまでの紙媒体にくわえ、Web 版 (PDF) での提供を開始しました。

Web 版はジャグラ HP よりダウンロードして
PC/タブレット/スマートフォンなどで閲覧*していただく形となります。
なおダウンロードに関しては ID/PW などは必要なく、誰でも閲覧可能です。

現在、紙媒体の GS 誌は当月下旬に会員の皆様に発送していますが、
Web 版はそれより約 1 週間早い中旬 (おおよそ毎月 15 日前後) に公開しますので、
いち早く各種情報を入手できると同時に、
社内同時閲覧や本文中 URL へのリンクなど利便性が増していますので、
ぜひご活用方をおすすめします。

ダウンロードはジャグラHPより <http://www.jagra.or.jp/>

*閲覧には Adobe Acrobat Reader が必要です

第23回 東京国際 9.23-25/東京ビックサイト

ブックフェア 見てある記

旧 電子出版EXPOが統合され、より顧客目線の展示会にリニューアル!

影山史枝の

東京国際ブックフェア
23rd Tokyo International Book Fair会期:2016年9月23日[金]~25日[日]
Dates: Sep. 23[Fri]~25[Sun], 2016主催:東京国際ブックフェア実行委員会/リード エクシビジョン ジャパン(株)
ORGANISED BY: TIBF EXECUTIVE COMMITTEE/LEAD EXHIBITIONS JAPAN LTD.

本の祭典「第23回東京国際ブックフェア」が、東京ビックサイトで9月23～25日の3日間開催された。昨年まで毎年7月初旬に、「電子出版 EXPO」や「クリエイター EXPO」など一緒にイベントとして開催していた同展は、クリエイターや印刷会社にとっても身近な存在であったが、今年からは「電子出版 EXPO」を吸収し、9月に単独開催する形にリニューアルされた。出展社は世界20カ国から470社。本の祭典にふさわしく約100万冊の本が展示され、土日は本を楽しむ家族連れも多く、3日間の来場者総数は、4万人余であった。印刷 & 電子出版の内容に重点を置いて、ジャグラー BB キャスター・影山史枝がレポートします。

●電子書籍ゾーン

電子書籍ゾーンでは、電子書籍化サービスや電子書店を運営する企業、約10社が出展。また、児童書ゾーンにも、児童書が得意とする印刷企業が出展していた。各社の強みを活かした取り組みについて話をうかがってきた。

| ボイジャー

デジタル出版のためのプラットフォーム「Romancer」をはじめ、Webブラウザ内で電子書籍の閲覧を可能と

する「B in B」、プロモーション支援のための「Power Thumb」を出展し、フロントステージでは、出版社、漫画家、作家などによる多彩な講演が繰り返されていた。

「Romancer」は、個人で電子出版ができる環境を提供するもので、Word、PDF、画像データをアップロードして、EPUBに変換でき、制作・配信することが可能。音声読み上げにも対応している。個人出版プラットフォームとして、もっと認知されても良いと感じる優れた環境を提供している。Romancerのサイトには、作品事例も出ているので、どのような環境なのか興味のある方は、ぜひご覧いただきたい。<https://romancer.voyager.co.jp/>

「B in B」は、Book in Browsersの略で、Webブラウザ内で電子書籍を自由自在に閲覧できる出版社向けの電子書籍ブラウズサービスである。電子書籍専用端末のデバイス内での閲覧より、スマホやPCを使用しWebブラウザで閲覧する人が多くなっている昨今、いち早くWebブラウザ向けに開発した「B in B」は縦組み表示もでき、ストレスなく読書できる環境が用意されている。現在、集英社のWebコバルト、SBクリエイティブの立ち読みサービスな

巻頭企画



上) 電子出版ではおなじみのボイジャーのブース

左下) ブラウザ型読書システム「B in B」のパンフ

右下) 個人でもデジタル出版を容易にする「Romancer」 手元にあるWORDファイルをアップロードしてデジタル出版する手順をわかりやすく解説した「入門ガイド」を配布していた

電子書籍ストア「honto」を運営するDNP
著名人のトークショーで人気だった

ケアマネジャー試験向けの問題集および同試験対策アプリを紹介する堀内印刷所のWebサイト

ど、約30社の法人が契約しているとのこと。

今年リリースした「Power Thumb」は、EPUB 3・画像・PDF等の電子書籍データから、作品内のアピール箇所を数点指定するという簡単な操作で、Webプロモーション用素材である動画やhtmlを作成するツール。クラウドサービスとして提供するもので、現在採用している集英社では、これをカスタマイズして運用。YouTubeに立ち読み用のデータをアップしてプロモーションに活用している。なお、「ブラックジャックによるしく」「海猿」などを描いた漫画家の佐藤秀峰のブース内講演の様子が、YouTubeでも見られる。コミックをはじめとする電子出版事情について、リアルな話が聞けて示唆に富んだ映像となっている。http://bit.ly/voyager_Bookfair2016

| 大日本印刷

大日本印刷が運営する電子書籍ストア「honto」ブース内のステージイベントでは、さまざまな分野の著名人によるトークショーがあり、取材した日は、タレントの壇蜜さ

んとスタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサーが出演。通路を歩くこともできないほどの人だかりができていた。ブース内では、hontoストアで利用できる500円クーポンを配布。まずは、電子書籍を試してみてくださいというプロモーションを行い、さらに、「ずっと好きな本」と題して、来場者が付箋に書いた好きな本が掲示されるなど、ユーザ参加型の楽しめるブース設営を行っていた。

| 堀内印刷所

アプリ開発も手掛ける電子出版事業を展開する堀内印刷所のブースでは、代表作として、ケアマネジャー試験向けの問題集および同試験対策アプリの紹介を行っていた。ニッチな市場だが、安定した収益を上げており、アプリも好評とのこと。写研・InDesignで使用可能な堀内書体も独自に保有、この書体でなくては困るという顧客の案件があり、オンリーワン企業として、独自の強みを活かした印刷、電子出版事業を行っている様子うかがえた。

<http://www.horiuchi-p.co.jp/app/81/>



上) 平河工業社のブース
右) 「印刷お役立ち情報」は同社 Web サイトでも閲覧可能



浮世絵やジグレイ印刷など、美術品に特化した展示の日精ピーアール



モンゴルで電子書籍制作を請け負うという東海データサービス



楽譜と電子出版の提案をしていたマイクロマクロリンクのパンフレット



段ボールでできた等高線型模型・コンタモに人気が集まっていたエルフィールドのブース



平河工業社

ハイデルベルグの印刷機を 160 台導入している平河工業社は、書籍出版物の展示のほか、Agfa の現像レスプレート（パネル展示）、高精細印刷サンプル（書籍・写真集・カタログ）や、印刷技術に関連した情報提供を行っていた。ラックの中には、印刷技術初心者向け情報が「印刷お役立ち情報」として冊子になって展示されていたが、通りかかった女子学生たちが、「こういうのが欲しかった」と資料収集をしている姿に出会った。印刷会社のノウハウや知識は、日頃接する機会を持たない人にとっては、知的好奇心をおおいに刺激するものなのだろう。同冊子は、Web でも閲覧できるようになっている。

<http://www.hirakawa-kogyosha.co.jp/oyakudachi.html>

●児童書ゾーン

児童書ゾーンでは、こどもひろばや漢字能力検定のブースなど一般の家族連れが楽しめる出展が多数あり、子ども参加型の読み聞かせコーナーや、セミナー、図画工作など

に取り組む姿が見られた。

ウイル・コーポレーション

同ブースではペーパークラフトや飛び出すパンフレットなどをメインで紹介しており、親子連れが足を止めて飛び出す絵本を楽しんでいた。また、個人情報保護関連では、資料請求ハガキなどの住所部分を隠す仕掛けとして、ハガキの一部を折り返して上からコインなどで擦ることで住所部分に圧着し、従来からよくある保護シールの代用となる加工の提案も目を引いた。<http://www.well-corp.jp/>

日精ピーアール

総合出版エリアで浮世絵版画を展示し、フォトブック制作支援を映像で紹介していたのが、日精ピーアールである。絵画のジグレイ印刷^{*}も行っており、美術品に特化した強みを誇っている。<https://www.nspr.co.jp/art/>

^{*}ジグレイ（Gclee）印刷は、原画をスキャナーで読み取り、それを顔料インクの専用インクジェットプリンターで印刷するもので、耐光・耐水性に優れ、保存性は 50 年とも 100 年とも言われている。安価にできることもあって、米アート業界ではシルクスクリーンやリトグラフに替わってジグレイ版画が 96% を占めている。

東海データサービス

モンゴルの自社工場で電子書籍制作を請け負うサービスを実施している。コスト面、技術面、日本国内での校正を経て電子書籍を制作する技術は、他に負けない強みを持つ。中国にも工場はあるが、今後はモンゴルを制作拠点に、力を入れていくとのこと。電子書籍制作については、携帯コミックにおいて実績多数であり、コミック系の本の電子化においては、一日の長があると言えるだろう。<http://www.tokaidata.co.jp/>

マイクロマクロリンク

新たな技術として目を惹いたのが、マイクロマクロリンクの、タブレット上の楽譜に直接触って音楽を頭出しできる「MML (Music Meta Library)」である。音楽図書館・鑑賞教材の未来形と銘打っており、音源と楽譜があれば、受注制作可能とのこと。ブース内のタブレットで実演していたのは、お琴の楽譜。ほか、実績としては尺八やピ

エルフィールド

児童書ゾーンでありながら、子どもだけでなく大人も興味津々で見入っていたのが、「等高線型模型・コンタモ」という商品である。「コンタモ」は、韓国のデザイナーが作った段ボールでできた動物や恐竜である。プラモデルを作るように、パーツを抜き型から外し、組み立てていく。それぞれのパーツを番号順に重ね合わせ貼り合わせると、立体的な動物や恐竜ができ上がる。完成品の、滑らかな曲線によるリアルな恐竜が展示されており、初日は、恐竜に人気が集まり、既に完売しているものもあった。段ボールという素材がこんなにリアルな置物になるのかと感心したが、近年印刷会社でもレーザーカッターによるグッズ制作を行う企業もあることから、デザイナーのアイデア次第で、印刷会社独自の製品を作ることも可能ではないだろうかと思いを巡らせた次第である。（電話 03-3432-5007）

<http://l-field.co.jp/>（編集部注：HP 工事中です）



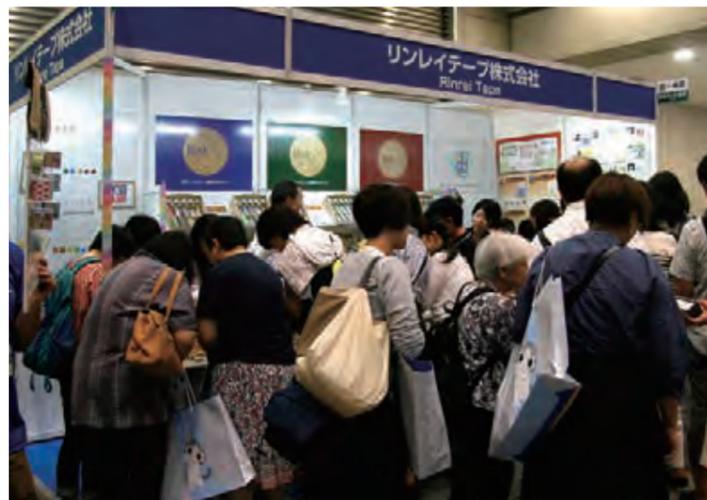
国内旅行ガイドを紹介していたTAC出版



書店へ送客するキャンペーンを紹介していたトーハンのブース



自分史ノートや新聞音声アプリ「アルキキ」を紹介していた朝日新聞ブース



近年人気のマスキングテープに群がる来場者



オリジナル本棚 DIY の提案



端材利用のブックエンド



まだまだ需要の多いラジカセやCDドライブ



講談社の猫本にも人気が集まっていた



子供の各種体験コーナーも人気
来場者は子供から大人まで幅広かった



フィンランドの絵本コーナーも子供たちに好評

TAC出版

資格対策本で有名なTAC出版は、プロジェクションマッピングで季節感を出した映像と、浴衣姿のコンパニオンによるチラシ配布で、ワンランク上の国内旅行ガイド「おとな旅 PREMIUM」シリーズを紹介していた。今年5月に発刊されたこのシリーズは、これまで国内旅行を満喫しつづけた大人のために、厳選した内容と、高品質な写真によって構成されている。現在17冊発行しており、今後も順次各地のガイドブックを刊行予定。1冊900円(税別)。全国の書店で取り扱っている。

<https://bookstore.tac-school.co.jp/pretabi/>

トーハン

紙の書籍を宅配するオンライン窓口e-honや電子書店Digital e-honを運営するトーハンでは、謎解きキャンペーンのほか、フィギュアを展示して、11月3日発売の映画「シン・ゴジラ」公式記録集の紹介を行っていた。謎解きキャンペーンは、書店で問題用紙を受け取るところから始まる。その後、特設サイトで解答し、正解ならば、2問目以降を解いていき、全問正解ならば、シリアル番号付きの感謝状やコインがもらえるというもの。今回は、第3弾とのことで、謎解き好きな読者層に支持されており、書店へ送客する手段として活用されている。

このほか、ブース内ではBluetoothを利用した試し読み電波も発信しており、その場でスマホを使ってLINEマンガが読めるサービスも実施していた。ここ数年、各地の有名書店が閉店する中、書店へ送客する手法を模索し、いろいろなキャンペーンが実施されていることを知る機会となった。<http://www.e-hon.ne.jp/>

朝日新聞

朝日新聞社のブースでは、朝日自分史、新聞音声アプリ「アルキキ」、各種ノート販売、手塚治虫文化賞のサインパネルなどが出展されていた。ブースに立ち寄った際には、各種ノート販売コーナーに来場者が集中しており、夏目漱石のころころノートが人気とのことだった。同商品は、朝日新聞社本館2階のA-RINGでも取り扱っているという。「アルキキ」は、新聞をスマホで読み上げるというアプリである。今年4月にリリースしたもので、スマホのアプリをタップすると、自動的に新聞紙面を読み上げる。

朝6時には朝刊から約10本を読み上げるなど、配信スケジュールがあり、通勤途中などに気軽に聞くことができることから、新聞の購読者には評判が良いとのことである。スマホの新聞電子版アプリは、ビジネスマンの必携ツールとなっているが、読み上げタイプは、全国紙としては初めてではないだろうか。紙の印刷物+aというサービスとして、今後もこういったサービスが増えていくことが期待される。

●グッズ類

取材した土曜日は、家族連れや社会科見学風の子供たち、本好きな老若男女で賑わっていた。多くの人だかりができていたブースに、本のグッズ販売ブースがあった。

リンレイテープ：マスキングテープ

マスキングテープの老舗リンレイテープのブースは、女性でいっぱい。マスキングテープの用途はいろいろあるが、本展示会では、トークショーで本のカバーを作ったり、ブース内で、本のしおりサンプルが展示されていたり、絵本作家とのコラボレーションによるマスキングテープが紹介されているなど、本に関連するマスキングテープの使い方の提案が行われていた。来場者に対して、自分だけの書籍を飾る手段として、発想を刺激していたようだ。

<http://www.rinrei-tape.co.jp/>

和気産業：オリジナル本棚のDIY

2×4材・1×4材を数枚使うことで、オリジナル本棚を作れるというDIYパーツの展示に足を止めて見入ってしまった。DIYの専門商社である和気産業のブースでは、本の高さや幅に合わせて、自在に組み立てることができる書棚を展示し、その頑丈さや自由度をアピールしていた。確かに、既製品の本棚では、保有する本の幅・高さに合わせようとすると、収納時に余分なアキができ、思うように取まらないことが多い。これを解消することができ、自分だけの本棚を作る楽しみを提供する商品とのこと。

自分の書棚を思い浮かべ、木材が何本必要なのかなとパンフレットとにらめっこしてしまった。同じ思いの人たちが足を止めては、説明員に質問する姿が意外に多いことに気づいた。人の困ったを解決することがマーケティング戦略の第一歩だなどつくづく感じた。

<http://www.waki-diy.co.jp/>



人気だった洋書販売コーナー

岡崎製材：端材を加工したブックエンド

木材専門の企業である岡崎製材。丸太の製材過程で出る端材を利用した商品開発ができないかとのことから、「HAZAI プロジェクト」を立ち上げ、デザイナーと共にブックエンドを開発したとのこと。今年6月に始まったプロジェクトでは、端材を加工し、カッティングボードやブックエンドを世に送り出してきたとのことで、端材を廃棄するのではなく、魅力ある商品に変化させることをコンセプトに、今後も商品開発をしていくとのこと。同商品は、楽天でも販売している。

<http://item.rakuten.co.jp/muku-mekiki/c/0000000846/>

廣華物産：ラジカセ&CDドライブ

ふと足を止めてしまったブースの一つが、懐かしいラジカセを数多く並べた廣華物産のブースである。CDドライブが搭載されていないノートPCが多い昨今では、試験対策や教材などのCDを使いたい際に困るという消費者が意外にいるとのこと。それならば、単独のCDドライブを提供してはどうか、ということで取扱いを開始したとのこと。シンプルながらも商品の使い方提案に感心した。

<http://www.kohka.biz/>

●出版社

各出版社のブースでは、各種書籍を20～30%OFFで提供しており、欲しい書籍を探す人でごった返していた。また、大日本印刷ブース裏では、洋書バーゲンも実施されており、なかなか手に入らない洋書をじっくりと探す人たちが集まっていた。

講談社

講談社ブースでは、『モーニング』に連載されていた「チーズスイートホーム」が10月からテレビ東京で放映されるのを記念して、「こねこのチー」の着ぐるみや紙バッグ、缶バッジなどを用意し、無料プリクラを設営していた。

●国際色豊かな絵本

海外からの出展では、マレーシアブースやフィンランドブースなど、絵本を多く取り扱っているブースに親子連れが集まっていた。絵本というのは、万国共通で受け入れられるものなのだと実感した。

見学を終えて

今回の東京国際ブックフェアは、ブースの間隔が多く見受けられた。空きブースエリアは、ラウンジとして休憩できるように設営されていたが、これまでの同展示会を知る者にとっては、本の商談の場というよりも、消費者が楽しむ場という色が濃かったように思われる。主催者側でも、今年からは「本好きの方々に喜んでいただく場」「まだ読書に馴染んでいない方々が、本を読むきっかけとなる場」という2つのテーマを掲げており、出展各社とも消費者目線でさまざまなイベントや趣向を凝らしたブース設営をしていた点が目新しく感じた。印刷業では、電子書籍や出版市場における情報収集という観点で見えてきた方も多かったと思うが、今後は、一読者として、本を楽しむために足を運ぶのが正解だと感じた一日であった。





法律相談ネットワーク ほうしんかい 「グラフィックス法親会」のご案内

皆で入ろう、困った時のために！ いつでも気軽に相談できる、皆の法律専門家！

何かと相談事・悩み事の多い時代を迎えています。特に最近では経営上の係争が多く発生していますが、このような問題に直面したとき、気軽に相談できて、アドバイスもらえる「顧問弁護士」が身近にいればなにかと心強いものです。しかし顧問弁護士料は普通最低でも50万円以上（年額）かかるといわれており、中小企業にとってその費用捻出は非常に困難です。

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」は、「会費制によって、いつでも相談にのっていただける身近な顧問弁護士を持つ」というジャグラー会員有志のグループです。現在、専任としてお願いしている今西一男弁護士は、印刷業界に造詣が深く、これまでも様々なご相談に対応していただいております。経営の難しい時代、身近な法律相談ネットワークとして、出来るだけ多くの仲間に参加していただき、この会を育てていきたい所存であります。つきましては入会のご案内を申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。



法親会・会長 添田隆男 (株式会社サンライズ / ジャグラー18代会長)

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」の概要

- 専任 今西一男 弁護士
- 会費 50,000円 (年・税込)
※年度途中入会は月割換算 (年度末12/31)
- 会員特典 ① 無料相談 (随時)
※ 遠方の場合は電話・ファクスで対応
② 情報交換会 (適時開催)
- 事務代行 (入会申込先・問い合わせ先)
一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会
東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001
電話 03-3667-2271
ファクス 03-3661-9006

入会申込書

申込日 20 年 月 日

fax.03-3661-9006

フリガナ	フリガナ
社名	氏名
	印
〒	
Tel	Fax
	E-Mail

短時間労働者の厚生年金保険・健康保険の加入対象が広がる

平成28年10月より/当面、従業員501人以上の企業が対象

10月から厚生年金保険・健康保険の加入対象が広がることとなった。非正規労働者の将来の年金権の確立や、女性の就業意欲の促進を図るため、年金機能強化法^{*}により、短時間労働者に対する社会保険の適用が拡大された。

×

社会保険の適用はどのように変わるか？

1. 短時間労働者の社会保険の適用拡大

これまで、短時間労働者が社会保険に加入するには、「1日または1週間の労働時間および1か月の所定労働日数が、通常の労働者の4分の3以上」であることが要件であった。この基準が、下記5要件に該当する短時間労働者に拡大されることになった。

- ・週20時間以上
- ・月額賃金8.8万円以上（年収106万円以上）
- ・勤務期間1年以上見込み
- ・学生は適用除外
- ・従業員501人以上の企業

適用対象となる事業所（特定適用事業所）は「従業員501人以上の企業」で、適用拡大前の基準で社会保険加入の対象となる労働者の数で算定する。たとえば、正社員、短時間労働者を合算すると501人以上の企業であっても、その中で適用拡大前の基準で社会保険に加入している労働者が501人以上でなければ特定適用事業所には該当しない。

「4分の3基準」は、労働時間と労働日数を正社員と比較するもので、これまで用いられていたが、今回の改正により、①1週間の労働時間が正社員の4分の3以上であり、なおかつ、②1か月の労働日数も正社員の4分の3以

新たに社会保険の適用となる労働者及び企業の基準※学生適用は除外

労働者	所定労働時間	週20時間以上
	賃金	月額8万8000円(年収106万円)以上
企業	雇用期間	1年以上見込み
	規模	従業員数501人以上

上、という2つを満たした場合に社会保険に加入するという内容に変更された。これまであった「1日の労働時間」については基準から抜け落ちた。この「4分の3基準」の改正は501人という規模要件は問わず、すべての会社に適用される。そして、この「4分の3基準」を満たさない労働者については、上記の「5要件」に当てはまるか否かを確認する。

2. 被保険者資格の適用基準の明確化

今回の改正において、これまで政府が示していた被保険者の適用基準（いわゆる4分の3基準）が法律上規定され、適用基準が明確化された。従前は「1日または1週間の労働時間および1か月の所定労働日数が、通常の労働者の4分の3以上」と示されていたが、年金機能強化法の改正により、「1週の所定労働時間および1月の所定労働日数が4分の3以上」となる。また「被保険者として取り扱うことが適当な場合は、総合的に勘案し、被保険者資格の適用を判断すること」とあったが、年金機能強化法では削除された。

3. 標準報酬月額の下限改定

適用拡大に伴い、厚生年金保険の標準報酬等級の下限が現行の9万8000円から8万8000円に引き下げられる。今回の改正は、働き方の多様化により短時間労働者等の非正規労働者も増加している中、非正規労働者の年金保障が十分でないといった課題解決には、一定の効果が見込まれるといえる。しかし一方で、本来、社会保険への加入手続きをすべきなのに、加入の届け出を怠っている加入逃れの事業所の問題も存在する。厚生年金に入る資格がありながら国民年金に入っている人は200万人と推計されており、加入すべき人が入れないままであるという状況に対しても、取り組みを強化し、より公平性のある仕組みを整えるべきと考えられる。

ただし、改正法では適用範囲について「平成31年9月30日までに検討を加え、その結果に基づき必要な措置を講ずる」とされており、今後も検討が加わり、いずれはそ

※年金機能強化法について 平成26年4月に施行された「年金機能強化法」についてのポイント（抜粋）

- ①受給資格期間を10年間に短縮（平成29年4月施行予定）＝将来の無年金者を少なくし、より多くの人の年金受給に結び付けるため、受給資格期間が25年間から10年間に大幅に短縮されることになる。
- ②パートタイマーへの厚生年金保険・健康保険の適用拡大（平成28年10月施行）＝これまで社会保険に入ることが出来なかったパートタイマーの方も一定の要件を満たせば現在よりも加入しやすくなるもの。（当面、501人以上の規模の企業に限定）
- ③産前産後休業期間中の社会保険料免除制度の創設（平成26年4月施行）＝次世代育成支援のため、育児休業期間中のみではなく、産前産後休業中についても社会保険料が事業主および被保険者共に免除されるようになった。
- ④遺族基礎年金の対象者に父子家庭の父も加わる。（平成26年4月施行）
- ⑤基礎年金の国庫負担の割合について、2分の1を恒久化する。（平成26年4月施行）

の対象が拡大される可能性もあるので、中小企業者も今回の改正を十分把握しておくべきである。なぜならば厚生労働省では、適用拡大による対象者数は約25万人と見込んでいる。法施行後に適用対象となることが予定される短時間労働者からは、勤務時間を減らしたい等の要望が上がることも想定されており、中小企業としても社会保険料増加への対応のみならず、このような状況に備え、今から対応策を講じるべきであろう。

【参考】社会保険適用拡大に関する日本年金機構のURL
<http://www.nenkin.go.jp/oshirase/topics/2016/0516.html>

短時間労働者にとって加入するメリット

短時間労働者にとって加入する（適用になる）メリットは以下のとおり。

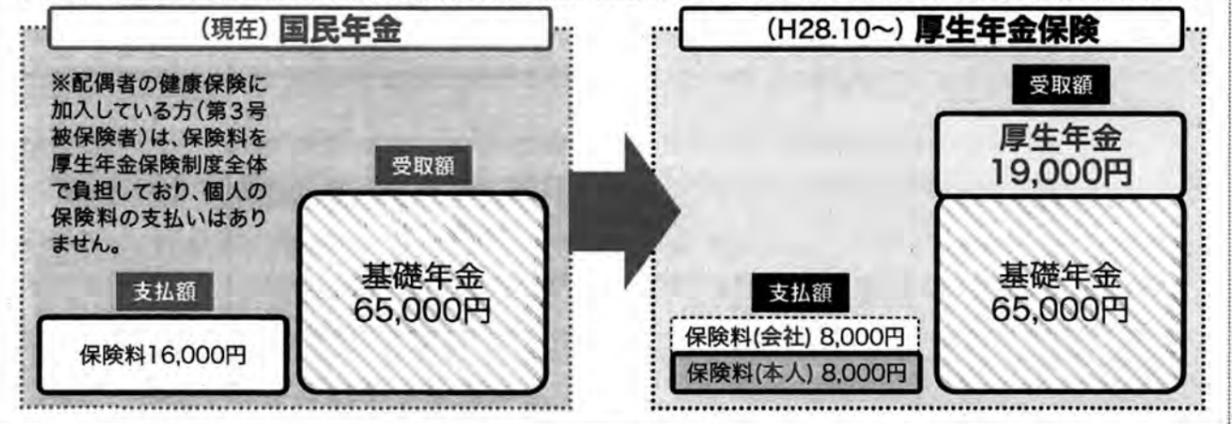
- ①将来支給される年金が増える

全国民共通の基礎年金に加えて、報酬比例の年金(厚生年金)が終身でもらえます。

モデルケース(月収88,000円)	保険料	増える年金額(目安)
40年間加入	月額8,000円/年額96,000円	月額19,300円/年額231,500円 × 終身
20年間加入	月額8,000円/年額96,000円	月額9,700円/年額115,800円 × 終身
1年間加入	月額8,000円/年額96,000円	月額500円/年額5,800円 × 終身

<保険料と年金額のモデルケース(40年間加入)> ※金額は月額

※月収が増えると年金額も増えます。また受取開始後も、物価や賃金により上下するほか、少子高齢化による調整(減額)があります。



企業の人事管理はどう変わるか

社会保険の適用が拡大されると、企業も個人も新たな対応を迫られることになる。企業は、社会保険に加入するパート・アルバイトが増え人件費がアップするため、新たな人事管理が求められる。一方、働く個人の側は、これまでよりも労働時間を増やし、社会保険に加入した上で、より多くの収入やより良い待遇・キャリアを求めるのか、それとも働く時間を減らし、非課税・被扶養者として補助的に働くのか、という選択を迫られる。

そして、パートやアルバイトといった短時間労働者の多くは有期雇用契約のため、契約期間が5年を過ぎると、雇用期間が定めのないものになる「無期転換ルール[※]」も適用される。従来、短時間労働者と言えば、有期雇用で社会保険には入らないものと決まっていたが、今後は無期雇用でありながら社会保険には加入しないパートタイマーや、有期雇用でありながら社会保険に加入しているアルバイトといった新しい雇用管理区分が登場する。

これに正社員から転入する労働者も加わる。定年退職後に継続雇用され短時間働くシニアパートや、育児や介護、病気治療、その他の理由で一時的に短時間働くという正社員もいる。

今後、短時間労働者の雇用管理区分は、①社会保険への加入の有無と、②雇用期間が有期・無期、これらの違いによって4つに区分される。そして、これらの区分内での労働者の移動も頻繁になろう。

103万円、130万円そして106万円の壁

国民年金の加入者区分について、国民年金には「国民年金の加入者区分」と呼ばれる、3つの区分がある。

①第1号被保険者：学生、自営業者、農業や漁業に従事している方、あるいは無職の方

②第2号被保険者：会社や官公庁などに勤務し、勤務先で厚生年金保険や共済組合に加入している方【サラリーマン等】

③第3号被保険者：厚生年金や共済年金に加入している方によって扶養されている方【いわゆるサラリーマンの主婦】

今、問題に挙げられている“103万円の壁”は、「第3

号被保険者」が扶養内で受けられる（所得税を計算する際の）「基礎控除額38万円」と「給与所得控除額の最低額65万円」の合計額。そしてさらに高い壁である“130万円の壁”は、「第3号被保険者」から「第2号被保険者」へ変更される＝扶養から外れてしまう行為を指す。

●103万円の壁

まず103万円の壁とは、妻の所得が38万円以下、給与収入でいうと年額103万円以下である場合、夫の所得税の計算上、38万円を所得控除する制度で、配偶者控除の存在により103万円を超えて働くと夫の税が高くなるため、妻が一定以上働かないように調整するという“壁”をいう。65万円の給与所得控除+基礎控除が38万円=103万円なので、この壁を越えなければ“本人の”所得税は0円となる。つまり、夫の所得税と住民税が配偶者控除によって安くなり、配偶者控除とは納税者に、所得38万円以下（給与収入で103万円以下）の配偶者がいる場合に納税者の所得から所得税38万円、住民税33万円の控除を受けられる制度のことである。この配偶者控除を使うためにも103万円以内に抑えたいという方も少なくない。

●130万円の壁

次に130万円の壁は、「第3号被保険者」から「第2号被保険者」へ変更される＝扶養から外れてしまうことで、年収130万円以上であれば社会保険料は自己負担となる。いわゆる130～150万円だと手取り金額が社会保険料の支払いにより目減りし、配偶者控除の夫の社会保険料負担も控除がなくなり増加するので、130万円以内よりも手取りが少ない「働き損」と呼ばれる状態になり得るということ。つまり、130万円を超えそうであれば、一気に収入を増やした方が得策といえるかもしれない。

【注意】 扶養家族から外れるだけなら国民年金の第1号被保険者として自身で保険料を支払う。あるいは週20時間以上働き、月額8万8000円以上の収入があり、1年以上働く見込みのある場合は第2号被保険者となることになる。

●106万円の壁

一方、106万円の壁というものも存在する。年収130万円どころか年収106万円で扶養から外れてしまうというのが今回の社会保険の適用拡大である。現在は「社会保険加

※無期転換ルールについて

労働契約法の改正により、有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたときに、労働者の申込みによって企業などの使用者が無期労働契約に転換しなければならないルール（無期転換ルール）が導入されている。有期労働契約で働く人の約3割が、通算5年を超えて有期労働契約を繰り返し更新している実態にあり、その下で生じる雇い止めの不安の解消が課題となっている。無期転換ルールはこうした問題に対処し、厚生労働省では働く人が安心して働き続けることができる社会を実現するためのものだとしている。

●厚生労働省 Web サイト <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000092749.html>

入者が501名以上の会社に勤務し、1年以上勤続する見込みがある者」と限定されているが、3年以内に検討し、その結果に基づき必要な措置を講じるなら3年後の平成31年の段階で新たな局面を見せることになろう。

●配偶者特別控除

なお、今回の改正とは直接係らないが、配偶者特別控除が適用される（＝控除を受ける）人というのは、納税者が夫の場合、夫の合計所得金額が1000万円以下でなくてはいけないということを付記しておく（夫の所得が1000万円超ならば配偶者特別控除は受けられない）。夫がサラリーマンの場合には、通常、健康保険・厚生年金に加入している。健康保険の被扶養者になる条件は、年収見込みが130万円未満（60歳以上・障害者は180万円未満）の場合であり、130万円以上の場合には被扶養者になれないので、自分で国民健康保険に加入しなければならない。さらに、サラリーマンの妻は保険料ゼロで国民年金に加入できる、第3号被保険者という制度も受けられなくなってしまう。「扶養」から外れてしまえば、国民健康保険・国民年金保険料の追加負担が生じる。その負担額は、所得税扶養の比

ではないので注意が必要。

適用拡大対策でのご注意

5つの要件のうちの一つに「所定労働時間が1週間以上20時間以上」という要件がある。この要件に当てはまらないよう、会社が従業員の同意無しに一時的に労働時間を20時間未満に減らすのは不利益変更に当たり、また、改正内容の潜脱行為[※]に該当してしまうので企業として行うことはできない。

せんだつこうい
※潜脱行為：一定の手段とその結果を法が禁止している場合、禁止されている手段以外の手段を用いて結果を得て、法の規則を免れること。

なお、本稿では今回の制度改正に伴う変更は従業員501人以上の企業での適用であることを踏まえている。対象とされていない中小企業も、今後注意すべき点について社会保険労務士、所管官公庁の指導を仰ぐことをお勧めしたい。

斎藤成（公社）東京グラフィックサービス工業会 / 専務理事

Column 無料のクラウド会計ソフトfreeeで中小企業に新風

e-中小企業ネットマガジンVol.744より転載

金融とはデータのビジネス。すべてがデータなのだとすれば、金融サービスは最もITと相性がいい。今をときめくフィンテック・ベンチャーの中でも、ひときわ輝くfreee（東京）の佐々木大輔社長は、フィンテック＝金融×ITが台頭する“必然”をそう説明する。時代の波に乗る同社が手掛けるのは、会計ソフトをはじめ中小企業の業務改善に照準を合わせた製品・サービスの数々。「小さなビジネスほど強くてカッコいい。そんな時代をつくる」と、フィンテック×スモールビジネスで、世に新風を巻き起こす。

freeeは4年前に佐々木社長らが設立した。佐々木社長は大手広告代理店、データ分析のベンチャー企業、世界最大のインターネット検索会社を経て、独立・起業した。取り組んだのは、中小・ベンチャー企業のための会計ソフトの商品化だ。経理の自動化を後押しし、帳簿付けにかかる時間を従来の50分の1にするといった画期的な製品＆サービスを「自宅で開発し、昼飯以外は外に出ない生活」を続けた末に完成させた。

一般に既存品の改良や手直しでは、50分の1という驚愕の合理化、効率化はどんなにがんばっても不可能で、それを実現するには全く異なるアプローチが必要となる。同社の場合もそうで「会計ソフトとは、を再定義する」、「経理知識を持たない人でも使えるソフトを目指す」とのゼロベース思考から始めて果実を得た。その革新性のさわりを、坂本登史文プロダ

クトマネージャーは「グーグルやフェイスブックが写真から人物を判別し、アルバムを作るのと同じようなことを会計でもできるはずと考え、やり遂げた」と説明する。

50分の1を可能にした「クラウド会計ソフトfreee」は2013年春の発売から3年間で60万事業所に普及。クラウド会計ソフトではシェア43.7%の断トツ1位となった（2016年2月、デジタルインファクト調査より）。同社では会計ソフトと併せて、給与計算、会社設立（起業時に必要な書類の一括作成）、マイナンバー管理などの各ソフトも品ぞろえした。それらのシナジー効果や、蓄積される会計・決済データの活用、さらにAI（人工知能）とのドッキングにより、「スモールビジネスに携わるすべての人が創造的な活動にフォーカスできるようにする」（佐々木社長）ことを目指している。

実家が東京下町で美容院を営む佐々木社長は、経理業務に四苦八苦する姿を目の当たりにして育つ。ベンチャー企業時代にはCFO（最高財務責任者）を務め、経理の大変さを、身をもって知る。また、ネット検索会社では中小企業向けマーケティングを統括し、中小企業のIT化の遅れを肌で感じ取る。そうした経験の積み重ねがfreee設立へとつながっていく。卓球台がでんと構えるオフィスで、freeeのロゴ入りTシャツ姿の佐々木社長は「中小企業の業務を変えて、働き方も変えていきたい」と目を輝かす。<https://www.freee.co.jp/>



7.29第一回運営基盤戦略会議を開催

年4回(7.29、11.13、2.10、5.26)の開催を予定

この6月に就任した中村新会長の活動方針の一つに、「強いジャグラー」があります。「強いジャグラーにするため、どう活動するか、何をするか」、その中核的な位置付けとなる会議が、新設された「ジャグラー運営基盤戦略会議(本誌9月号、P4の組織図参照)」で、去る7月29日に第一回目の会議が開催されました。

×

元々この位置には「常任役員会」(旧常任理事会)がいましたが、公益法人改革により、理事として、①代表理事(会長)、②業務執行理事(専務理事、常務理事)、③理事の三種類が法定されたため、ジャグラーでは常任役員会を定款よりはずした経緯があります。しかしその後も、「事業担当理事連絡会」という名称で、引き続き会議を継続していました。「ジャグラー運営基盤戦略会議」は、「強いジャグラーするには、会員一社一社が経営基盤を強化していかなければならないが、そのために本部と支部とをつなぐ地協の機能を強化すること、そして地協会長をメンバーにした会議を立ち上げる」という中村新会長の意向により新設したもので、年4回の開催を予定しています。7月29日に第一回目が開催され、①会議の位置付けについて、②ジャグラーの課題について、③今後の方向について、④その他、について下記の意見交換がなされました。

…………… 主な意見 ……………

●組織拡大について

- ・佐賀は会員ゼロだが、半分くらいの会社は福岡で営業している。商圏が重なるので福岡に加入してはもらってはどうか。
- ・入会しそうな会員に対して定期的な訪問を行うが、たびたび訪問すると嫌がられる。新しい材料がないと訪問しづらい。
- ・地方はインフラの問題があり、集まるのが大変。関東地協は東京に集まるのが効率的。
- ・近畿は大阪に集まりやすい。
- ・北陸は広いからどの県と合同するか検討する余地はある。北信越という考え方もある。
- ・中国地協は全部で22社しかない。まず、重点支部として広島を強化する。

●活性化

- ・総会も含めイベントの在り方として、派手にやるか地味にやるかでいつも意見が分かれる。しかし、地味にしたいという人たちは、だんだんその組織からいなくなっている傾向があ

- るので、派手にやったほうがいい。
 - ・セミナーを開催すると青年部メンバーが参加してくれる。
 - ・地協総会を活性化するためにセミナーなどが欠かせない。メーカーは持っている情報量が違うので、露骨な営業活動をしないうことでセミナーなどに協力してもらってはどうか。
 - ・大阪では富士ゼロックスのセミナーを案内している。
 - ・組合活動は交流や親睦が一番大事。知っている人が一人でもいれば、イベントに参加するようになる。
 - ・今年度は地協の予算として100万円を付けた。1地協10万ということでもいいし、東西に分けて50万ずつということでもよい。使い方はこれから検討するが、地方の交通費負担を軽減したいと考えた。
 - ・大阪では地協会費というのは特に集めていない。支部会費の中から捻出している。
 - ・東京はセミナーを開催する時は黒字化することを第一に考える。できるだけ集客できそうな講師を呼んで有料セミナーを実施することにした。
 - ・世代間ギャップがある支部がある。若い人が意見を言えない雰囲気があるようだ。
 - ・例えば西日本ブロックで全国協議会のミニ版を開催して、セミナーなどを開催してはどうか。
 - ・愛知では企業間格差が大きいので、セミナーは開催していない。それよりも会員企業の事例発表をやってきた。それらは会員増強につながった。
- 事業全般
- ・地元が元気になるればいいと思い、いろいろな仕掛け(イベント)を考えている。伸びている会社の事例を発信していくのはどうか。
 - ・魅力ある組合、理想的な組織運営を考えていくべき時だ。
 - ・ジャグラーと全印工連との差別化ができていない。同じようなことをやっていると感じる。
 - ・同じようなことをやるのか、違うことをやるのかスタンスを明確にする。
 - ・ジャグラーの魅力あらためて考えて、全印工連が手を付けられない部分をやる。
 - ・ジャグラーに魅力があれば入会は増える。例えば、事務局のシンクタンク化、商売のヒントの提供などを検討してはどうか。
 - ・事務局のシンクタンク化には賛成だが、事務局体制をどうす

- るかという問題がある。
 - ・経営相談、法律の問題などの外部の力を借りるような相談窓口を強化してはどうか。
 - ・ジャグラーの会員企業を見学したり、自社で見学を受け入れたりしてとても勉強になった。見学会や相談会はジャグラーのメリットになる。
 - ・ネット販売や売り上げアップのコンサルなど、会員ができないことサポートを希望する。
 - ・地方会員が東京に事務所を持てるように、シェアオフィスを検討してはどうか。
 - ・ジャグラーのホームページは必要なものが探せない。リニューアルを検討してほしい。
 - ・セミナーなどをジャグラーBBの視聴で済ませてしまうと、人と会う機会が減る。
 - ・ジャグラーBBは番組の中身がわかるようにインデックスをつけてほしい。
- 全国協議会
- ・全国協議会では支部長のほかに、青年部や若い人を一人連れてくる作戦はどうか。
 - ・グループディスカッションで自由に意見交換をするため、お酒を出してはどうか。グループ発表は翌日に実施する。

- …………… 決定事項 ……………
- ・全国協議会のテーマは「強いジャグラー 頼れるジャグラー」になった。
 - ・グループディスカッションのテーマは9月9日の教育・技術委員会で検討する。
 - ・当日のグループディスカッションのファシリテーター(進行役)を教育・技術委員会メンバーが行う。

次回は11月13日(日)10:00から、SPACE-21 全国協議会の翌日、石川県金沢市で開催する。

【出席者】
 中村耀会長、菅野潔副会長(東京地協会長)、樋貝浩久副会長(関東地協会長)、佐藤順副会長(北陸地協会長)、池邊寛副会長、柳田道理事(北海道地協会長)、山本耕司理事(近畿地協会長)、伊藤政美理事(東海地協会長)、中村盟理事(SPACE-21)、宮崎真理事(中国地協会長)、沖敬三専務理事、守田輝夫常務理事、並木清乃事務局長

【欠席者】
 熊谷正司副会長(東北地協会長)、岩下登副会長、中越忠男理事(四国地協会長)、川路周一九州地協会長

VendorNews

会員・賛助会員の製品情報・プレスリリースを中心に

企・業・情・報

簡単設定でデジタルサイネージを実現
 無料*スケジュールアプリ『時間割看板』
 (株)アイ・オー・データ機器

アイ・オー・データ機器は、同社が販売しているスティックPC『CSTK-32W』(写真)で簡単・安価にデジタルサイネージが実現できる無料のスケジュールアプリ『時間割看板』の提供を開始した。

×

同社のスティックPC『インテル® Compute Stick (CSTK-32W)』は、37×103×12mmとUSBメモリ大のスティック型Windowsパソコン。今、使っているテレビやディスプレイのHDMI端子につなげば、インターネットを楽しんだり、パソコンとして利用できるようになる。仕様は、CPUがインテルAtomプロセッサ Z3735F(4コア、1.33GHz)、メモリ2GB、ストレージ32GB/eMMC、USBポート×1で、小型ながらも冷却ファンを搭載し、安定した動作が可能。価格はオープンプライスとなっている(参考:同

<http://www.iodata.jp/product/pc/pc/index.htm>



社直販サイトでは2万2140円)。
 今回、提供を開始したスケジュールアプリ『時間割看板』をインストールすれば、簡単にデジタルサイネージを構築することができる。『時間割看板』を使えば、曜日や時間で設定したスケジュールに応じて、動画や静止画をディスプレイに表示したり、PCの自動シャットダウンもできるので、簡単・手軽・安価にデジタルサイネージが実現できる。
 ※本アプリは同社HPから無料でダウンロードできるが、使用許諾およびサポート対象は『CSTK-32W』もしくは同社液晶ディスプレイ使用のユーザー限定となっている。





影山史枝の『それが知りたかった PDF の極意』(全7巻)

東京グラフィックス主催セミナー。安心安全のはずが、実はトラブルも少なからぬPDF入稿。画面上に表示されていない画像が印刷された、異なる位置に文字が印刷された……。そんな印刷会社のお悩みを解決すべく、DTPスペシャリストの影山史枝が、入稿されたPDFのデータチェックからトラブル事例までを徹底解説します。(「1巻～はじめに～」(6分)のみ無料配信中)

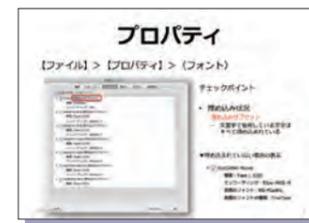


講師より一言 **影山 史枝** (ジャグラDTP & WEBスクール講師)

本セミナーでは、長年、印刷関連企業の技術サポートに携わってきた経験の中で実際に遭遇したPDFトラブルをもとに、その解決に役立つ知識をギュッと凝縮してお伝えしています。番組数は全7巻とボリュームたっぷりですが、視聴しやすいよう章ごとに番組を分けました。PDF初心者にはぜひ全巻を、経験者の方は必要な部分だけをピックアップしてご視聴ください。

シリーズ詳細

最新情報はWebでチェック! ▶ <http://www.jagrabb.net>



それが知りたかった PDF の極意 2/7 ～入稿 PDF の素性を知る～

Acrobat XI Pro を使用した入稿 PDF のプロパティチェック方法、PDFバージョンの変遷と仕様の変化など、基礎知識をおさらいします。

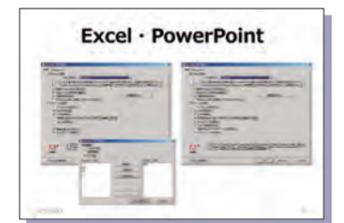
(34分、パスワード要)



それが知りたかった PDF の極意 3/7 ～入稿 PDF の作り方 (前編)～

Mac OS の PDF 作成機能、アドビやマイクロソフトなど各種アプリケーションからの PDF 書き出し機能と環境設定について解説します。

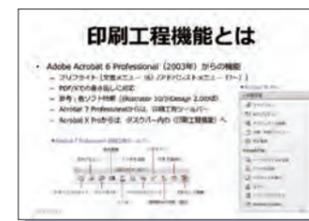
(40分、パスワード要)



それが知りたかった PDF の極意 4/7 ～入稿 PDF の作り方 (後編)～

前編で解説した内容を掘り下げ、PDF 書き出し時のジョブオプション、データ容量圧縮のための設定変更など、詳細設定について解説します。

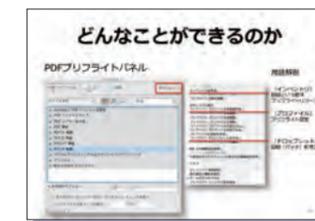
(29分、パスワード要)



それが知りたかった PDF の極意 5/7 ～ Acrobat : 印刷工程機能～

Acrobat XI Pro を使用し、プリフライト、分割・統合プレビューなどの印刷工程機能の使い方を解説します。

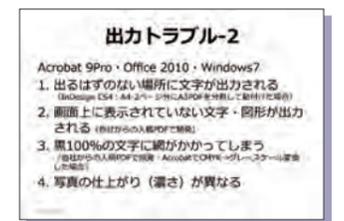
(15分、パスワード要)



それが知りたかった PDF の極意 6/7 ～ Acrobat : プリフライト機能 / カスタムプリフライト作成～

Acrobat XI Pro の印刷工程機能のうち、プリフライト機能の活用と、プリフライトプロファイルの編集方法を解説します。

(23分、パスワード要)



それが知りたかった PDF の極意 7/7 ～トラブルの現場から～

多種多様な環境から書き出された PDF トラブル事例とその解決方法、有益なトラブルシューティング情報などをお伝えします。

(15分、パスワード要)

JaGra Contest InDesign

第二代InDesignマイスター決定!!

栄光は戸田大作氏(日経印刷株/東京千代田)の手に

「ジャグラコンテスト第2回 InDesign」の第2次審査が9月10日に実施され、厳正なる審査の結果、戸田大作氏(日経印刷株)が、第二代 InDesign マイスターに輝きました。

×

第1次審査概況

昨年開催されたコンテスト第1回では、機関誌「グラフィックサービス」を模した20ページ横組みの定期刊行物制作を提示しましたが、第2回となる今回は、5種類の印刷物制作を想定した全5問を出題し、それぞれの課題において、InDesign 機能の知識、操作スキル、運用スキル、印刷知識を問う内容としました。

採点にあたっては、課題制作者が自身の制作した課題の

提出データ採点を担当、参加者個人を特定した採点が行われないよう、また、採点者ごとに加点の偏りが生じないように配慮しました。さらに、アプリケーションバージョンやフォント環境によって採点結果に差が生じないように、InDesign データとPDF 出力結果両方を採点するとともに、工夫した点などを受験者が自由書式でPRできる「コンセプト文」を各課題の提出物として定め、コンセプト文の内容を十分考慮した上で採点に臨みました。

課題を5問出題した意図には、複数の小問題形式にすることにより、課題を完成しやすくするねらいのほか、特定の印刷物制作に高いスキルを持つ参加者のみが上位を占める状態を避け、幅広い知識とオペレーションスキルをもった総合力の高いオペレーターを評価したいとの思いが込められました。

一方で、業務上経験のない課題が出題されても「試す、調べる、人に聞く」などしながら未知の領域にチャレンジすることにより、新たな知識やスキルを習得する機会につながってもらいたいとの意図もありました。

結果として、今回の第1次審査では、すべての課題を取りこぼしなく完成させた参加者が上位を占めましたが、上位者の多くは、1~3点という僅差によるランキングになりました。よって、1位から50位以内の方々のいずれもがトップレベルのオペレーターであると判断できます。

課題データのダウンロード開始から提出締め切まで約1か月という短い期間の中、応募者214名中209名の参加者が期限内に課題を提出されました。納期厳守が求められる印刷業界において、この課題提出率は特筆すべきことです。「コンテスト」という形式上、採点により順位をつけたものの、業務上大きな問題となるようなデータ件数は少なく、ハイレベルな競い合いだったといえます。

第2次審査と総合順位

第1次審査上位得点者から10名が選出され、9月10日、ジャグラ本部 DTP スクールで第2次審査(写真上)が行



9月10日にジャグラ DTP スクールで行われた第2次審査の様子

われました。当日は、各自の通常業務とは異なる制作環境下において、120分という時間制限での実技試験という厳しい条件のもと、「A4判横組み8ページの会社案内を制作する」という課題が出題されました。第1次審査(200点満点)と第2次審査(100点満点)の合計点で審査した結果、第1次審査・第2次審査とも第1位をマークした東京千代田支部・日経印刷株の戸田大作氏が、第二代 InDesign マイスターに決定しました。

詳細は特設サイトをご覧ください

<http://www.jagra-contest.com/>

InDesign Meister

1位 InDesignマイスター
日経印刷株(東京千代田)
戸田 大作



2位
株サンワ(東京千代田)
西野 学



3位
株ニシキプリント(広島)
渡部 由加



その他入賞者(第1次審査得点順)

株東北プリント(宮城)
渡部 高志



株北斗プリント社(京都)
清水 利恵



株野毛印刷社(神奈川)
清水 雅規



株ウィザップ(新潟)
細田 理恵



株北斗プリント社(京都)
加舎優美子



株ウィザップ(新潟)
平 彩花



株ニシキプリント(広島)
竹腰加奈子



BOOK

日印産連 社会責任報告書 SRレポート2016/A4判29ページ

ジャグラなど印刷関連10団体で構成する日印産連は、「社会責任報告書(SRレポート2016)」を発刊しました。

×

グランドデザインの柱としての社会的責任

日印産連は昨年、設立30周年を迎えましたが、30周年を契機に新たな事業戦略として「グランドデザイン」を策定しました。そのグランドデザインの柱となっているのが、印刷産業はこれまで以上に「社会的責任」を果たしているというものです。

日印産連では「社会的責任」を、

- ①印刷産業が社会の発展に貢献する価値の創出に取り組む、
- ②価値の創出プロセスが社会の期待に応え誠実に行動する、
- ③地球環境への配慮、

④社会に情報発信をし、印刷産業への理解を深めていただく、

としており、本報告書は印刷産業に関わるすべてのステークホルダーに印刷産業の社会的責任をご理解いただくことを目的として作成されました。内容は、

- ①印刷産業の社会的責任、
- ②印刷産業の概要、
- ③価値創出に向けた取り組み、
- ④社会の期待に応えるために、
- ⑤地球環境に配慮した事業推進、
- ⑥社会との情報発信

となっています。ジャグラでは各支部に一部ずつ配布することにしてはいますが、ご希望の方は日印産連(電話03-3553-6051)にお問い合わせください(残部僅少)。



JaGra News

業・界・の・動・き

ジャグラ関連 | 日印産連 | 行政情報 | 印刷業界全般 etc.

日印産連

9.14「印刷の月」式典を開催 ジャグラから3氏2社が表彰される

ジャグラなど印刷関連10団体で構成する日印産連は、9月14日、東京・ホテルニューオータニにて「印刷の月」式典を開催し、吉岡前会長・高野直樹前理事、斎藤成前常務理事の3氏が表彰されたほか、環境優良工場表彰において、あさひ高速印刷(株)(大阪)が会長賞を、(株)プリプレス・センター(北海道)が奨励賞を受賞しました。環境優良工場表彰での2社受賞は2年連続の快挙となりました。

×

講演

式典に先立ち、3.11東日本大震災で被災した日本製紙(株)石巻工場について、被災状況から復興の道のり、それに今後の防災対策を柱とした講演が行われましたが、7.7mの津波に襲われた写真が多数紹介され、緊迫感のある内容でした。「今こそ団結、石巻!! POWER OF NIPPON」をスローガンに復興に取り組んだ同社——抄紙機の初号機は半年後の9月に、その他の抄紙機・塗工機は翌年8月までに再稼働したそうですが、完全復興までの努力は並大抵ではなかったとのこと。

最後に今後の防災対策について、①公共の防潮堤のほか、私設の防潮堤の設置、②事務所に防災機能(発電機、水槽等の設備や高架型避難通路の設置)を備える、③災害訓練の実施・啓蒙、④迅速なトップの決断(情報の一元化、効果的な支援活動、他)、⑤グループ丸となった復興活

動(人的支援、他)、⑥ステークホルダーとの信頼関係に基づく救援活動(信頼関係の重要性の再認識)等を教訓として得たとのことでした。

防災対策については、BCPやCSRの観点からも重要なものとの認識が広まってきておりますので、ジャグラとしても事業活動の一環として取り組むことにしています。

式典

続いて「印刷の月」記念式典で表彰が執り行われました。

【日印産連表彰】

- 印刷功労賞 吉岡 新(前会長) / 東京・文京
- 印刷振興賞 高野直樹(前理事) / 茨城県
- 印刷振興賞 斎藤 成(前常務理事) / 東グラ

【環境優良工場表彰】

- 会長賞 あさひ高速印刷(株) / 大阪府
- 奨励賞 (株)プリプレス・センター / 北海道



左から環境優良工場表彰奨励賞の藤田氏、中村ジャグラ会長、日印産連表彰印刷振興賞の斎藤氏、同・功労賞の吉岡氏、優良環境工場表彰会長賞の岡氏



左) ジャグラ宮城の震災復興支援活動を紹介する日印産連「印刷の月」記念講演会の冊子

下) 宮城県支部・震災復興支援プロジェクトの大橋リーダー



ジャグラ宮城の復興支援活動が紹介される

前述の講演会では概要を記したパンフレットが配布されましたが、その最後の見開きでジャグラ・大橋理事がリーダーを務めているジャグラ宮城県支部の震災復興支援プロジェクト「みやぎ・はじめの一步」の活動——震災翌年に開始した第一弾「石巻グルメセット『絆』」、翌年から3回

続けた「南三陸町の子供達の夢と希望を仙台七夕に繋ぐプロジェクト」、そして2014年より毎年続けている「ひまわりプロジェクト」が復興支援事例として紹介されました。大橋理事は、「熊谷晴樹支部長と手を携えて復興支援などの社会貢献事業を通して宮城県支部の活性化をめざし、ジャグラ各支部・地協が取り組んでいく再生の足掛かりになれるよう尽力していきたい」と話しています。



Copyright 2016 JaGra / 禁無断引用
記載製品名は一般に各メーカーの登録商標です
なお本誌ではTM・®マークは省略しています
乱丁 / 落丁本はお取り替えます

月刊「グラフィックサービス」779号

- 発行日 平成28年10月10日(毎月1回)
- 発行人 中村 耀
- 編集人 早坂 淳
- 発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称 ジャグラ
- 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
- TEL 03-3667-2271
- FAX 03-3661-9006
- WEB http://www.jagra.or.jp/



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

- ◎原稿/編集/校正
沖 敬三 守田 輝夫 並木 清乃 長島 安雄 酒井 玲子
阿部奈津子 今田 豪(以上、ジャグラ事務局)
斎藤 成(東グラ/広報委員)
藤尾 泰一(南インフォ・ディー/広報委員) 日経印刷(校正のみ)

- ◎組版/デザイン
(南)インフォ・ディー
組 版= Adobe Creative Suite 6 フォント=モリスワ OTF ほか

- ◎印刷
日経印刷(東京・千代田支部)
RIP=大日本スクリーン Trueflow
CTP=富士フィルム XP-1310R 東レ TWL-1160F
刷 版=大日本スクリーン PT-R8800ZX

印刷機=ハイデルベルグ社 SM102-8P SORD
インキ=DIC

- ◎用紙
三菱ニューVマット FSC®-MX 菊判 62.5kg

※本誌はFSC®森林認証紙(管理された森林の木から作られた紙)とベジタブルインキ(環境配慮型インキ)を用いて、環境に配慮した印刷工場で生産されています。http://www.nik-prt.co.jp/



編集後記

来年のジャグラ文化典は東北・岩手県での開催ですが、再来年は九州・福岡県の開催に決定しました。ジャグラ文化典は、現在は毎年開催することにし、全国10地協の持ち回りで開催しています。過去に一度(平成15年)、毎年だと予算的な負担が大きいと、二年に一度の開催に変更したことがあります。やはり毎年開催しようとの声が大きくなり、再度、翌年より毎年開催する方式に戻して現在に至っています。参加者も一年に一度の仲間との再会を楽しみにしているようですので、そういった文化典にしたいと思っています。(T.M)

新 知 孔 温

懐かしき謄写印刷とその魅力

—— 今こそ先達の精神を学ぶとき



ジャグラ山形県支部長（中央印刷株）
山形謄写印刷資料館 館長

後藤 卓也

第10回：みちのくの謄写印刷名人

～鈴木藤吉と井上修吉～

第10回目は「みちのくの謄写印刷名人」と題して、山形県の謄写印刷名人・鈴木藤吉と井上修吉を取り上げます。謄写印刷が1894年（明治27）に堀井新治郎親子によって発明された頃は、役所や軍隊で多く使用され、一般に普及するには少し時間がかかりました。それは当初の15年間、堀井謄写堂が機材の販売製造を独占しており、価格的にも高いものであったからようです。堀井の特許が消えてからは、さまざまな製造業者が参入し、機材価格も低下し、一般化していきました。そして大正期になってから謄写印刷を生業としている業者が本格的に出始めたようです。山形県においても大正末期から謄写印刷業者が県内各地に現れ始め、昭和になると多数出現しました。これは、草間京平等を中心とした謄写印刷を教育する指導者が活発に指導活動を始めたことや、経済不況下で簡便で廉価な印刷方法である謄写印刷の需要が増えたことなどの要因があげられます。

山形県における代表的な謄写印刷名人として鈴木藤吉をあげなければなりません。鈴木は1908年（明治41）、現在の南陽市に生まれ、戦前に同地において「北陽謄写堂」を起こし、さまざまな謄写印刷物を制作しました。また、宮川良の主宰する「日本謄写藝術院」の主要同人・技術部員として高度な美術印刷を遺しています。鈴木は謄写印刷の講習会や研究会に参加するために何度も上京し、その度ごとに新しい技術を習得・山形に導入しました。著作権の関係で作品を紹介できないのが残念ですが、昭和初期の作品の中に、アメリカで生まれて間もない「ミッキーマウス」を正確に模写し、作成したチラシが残っています。昭和10年前後に鈴木が制作した謄写印刷によるチラシ類・美術印刷は、単にイラストブックの模写だけでなく、常に新しい図案を考え、東京の水準に全く引けを取らない斬新な

鈴木藤吉



イラストを描き、謄写色刷りで再現した、高度な作画・印刷技術による魅力にあふれている作品です。

鈴木は戦後文具商に転じ、謄写印刷業から離れたのですが、その作品は何十年の間、次男健二氏が大切に保存し、山形謄写印刷資料館に寄贈されました。戦前の山形県において、全国的にみてもかなり高度な謄写印刷物が作られ、奇跡的とも言うべき状態で保存されたことは驚きであり、貴重な文化遺産として後世に伝えなければなりません。

直木賞作家で、脚本家としても有名だった井上ひさしの父・井上修吉は、1905年（明治38）、山形県東置賜郡小松町（現川西町小松）に生まれ、東京薬学専門学校卒業後、東京での病院勤務を経て1929年（昭和4）、郷里小松町で薬局を開業。地域の文化的活動をしていた傍ら小説等を書き、「小松滋」の名で応募した「H丸伝奇」がサンデー毎日大衆文芸小説1位入選をはたしました。そして作家になる夢をもっていました。結核性カリエスの為に1939年（昭和14）7月17日、わずか34歳の若さで病没しました。

井上は裕福な家に生まれ、薬局を開業しましたが、自分の置かれている境遇に疑問を感じ、プロレタリア活動を行い、1930年（昭和5）に小林多喜二が「蟹工船」を載せた雑誌「戦旗」に「プリントの書き方」と題して謄写印刷の方法について小論を載せたり、労働運動や農民運動のビラを謄写印刷しています。井上はその小論中で「争議ニュースを刷つてゐる処へガサの不意打を食つたとしても、遅鈍な×達が××をがちやつかせて上つて来る頃には、既に我々は謄写版を小脇に抱えて、次の安全地帯へと跡白波なのである」と書いています。

井上が制作したと思われるビラが内容的にも面白く、労働運動の一級史料としますので、掲載させていただきます。優秀な謄写印刷制作者であった井上が直接制作した作品ではないかもしれませんが、「プリントの書き方」で自らを紹介した、「二十分で書き、一時間で五百枚は刷り上げる勢いのある闘争的で、力が入っているビラ」を彷彿とさせるような力強い印刷物です。自らが制作しなくても何らかの形で指導したり関わった作品であると思います。



鈴木藤吉の作品



井上修吉が制作に関わったと思われる労働運動のビラ



薬局での井上修吉（昭和7年くらいか）

所々カタカナ表記であり、面白い表現が至るところ出てきます。井上は「プリントの書き方」で当時の労働運動におけるガリ版ビラ製作を「星を目指して一路猛進する、我等が闘いの太鼓の音」と表現したのですが、その力強さを感じさせるものです。

井上はその頃、農地開放運動などに身を投じ、共産主義的活動も行なっていました。「薬局の店主でインテリ」のままであれば平穏な暮らしが出来たのが、世の中の不公平に我慢ができず、貧しい人たちのために自らいばらの道を歩き、若くしてこの世を去った井上の事を思うといたたまれなくなります。父親のかねえられなかった夢が、後の作家・井上ひさしに受け継がれていったのだと思います。筆者は先年井上の著作「H丸伝奇」を七十数年ぶりに復活出

版しました。いつ果たせるかわかりませんが、地道な調査・収集活動を行い、いつしか井上修吉全集を編集・発行できればと思っております。（つづく）